

難波宮跡 整備運営事業者の決定について

資料9

2025年大阪・関西万博開催による、世界へ大阪をアピールできる絶好の機会を活かし、2050年の難波宮跡遷都1400年に向け、国指定史跡 難波宮跡の保存活用を図り、民間活力を導入し、歴史魅力を体感できる公園整備（Park-PFI制度を活用）やにぎわい創出を担う民間事業者を公募し、事業者を決定。

難波宮跡公園「みんなのにわ」プロジェクト

事業者
設置等
予定者

代表構成員：エヌ・ティ・ティ都市開発(株)

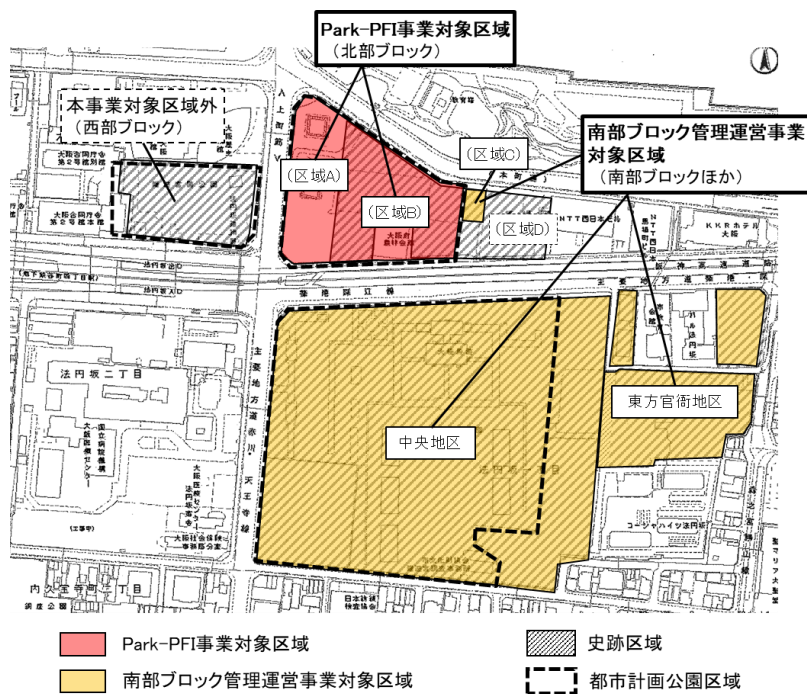
構成員：NTTアーバンバリューサポート(株)
(株)NTTファシリティーズ



位置図

＜史跡難波宮跡の概要＞

『史跡難波宮跡』は、西暦645年から始まった「大化の改新」に伴う難波遷都により、大阪市中央区法円坂一帯に築造された我が国最初の本格的な宮殿である「前期難波宮」と、その後、奈良時代に聖武天皇によって築造された「後期難波宮」の2つの宮殿とからなり、古代史上きわめて重要な史跡である。



難波宮跡 提案概要

■ 主な提案

◇ 民間施設整備に関する提案【北部ブロック】

- ・便益施設 4 棟の整備
(レストラン、カフェ、スイーツ店等)
- ・駐車場・駐輪場の整備

◇ 園地整備に関する提案 【北部ブロック】

- ・遺構表示、芝生広場

◇ 魅力向上業務に関する提案 【北部ブロック・南部ブロック】

- ・歴史ガイドツアー
- ・エクササイズ（ヨガ、太極拳等）関連
- ・伝統芸能特別公演
- ・フードフェス など

■ 事業期間～

北部ブロックの工事着手から20年間

■ スケジュール（予定）

令和 5 年春	南部ブロック運営開始
令和 5 年冬頃	北部ブロック工事着手
令和 7 年春頃	北部ブロック運営開始

